令和7年度　　授業改善推進プラン　　1年　　家庭科

1 日常の学習状況・課題について

（1） 小学校における基礎知識・技能の習得に個人差がある。また、全体的に学習意欲のある生徒が多いが、自信をもって発言できる生徒が限られている。

（2） 学習した知識や習得した技能を実生活で使う機会が少ないため、生活をより良くするために工夫し、創造する力を養う課題が必要である。

（3） 知識を得ることだけを重要視するのではなく、実生活でどのように生かせるのかを考えさせる授業展開が必要である。

2 改善の計画

（1） グループワークをすることで、個人の意見ではなく、グループの意見として発言することで発言することに慣れるようにしていく。

（2） ワークシートを授業終了後回収し、評価を記入する。そのワークシートを使い授業最初に補足説明をしてから次の授業につなげていく。

（3） 実生活で学習した内容を生かすために、長期休みに課題を出し取り組ませることによって自立する力を身に付けさせる。

3 非認知能力を高めるための手だて

（1） 調べ学習や、作品作りを通して、やり遂げる達成感を味わわせ、自己肯定感を高められるようにする。

（2） グループワークを増やし協調性を高められるようにする。

4 プランの評価方法

（1） 授業アンケートを実施し、変容を見る。

（2） ワークシートや作品を含む、授業内での生徒の取り組みを観察する。